

日米における高齢化社会と 貧困に関する比較研究

アデリア・ホーニック
メルヴィン・メイソン

2017年春学期

アドバイザー: 齋藤-アボット佳子教授
関根繁子教授

私達のキャップストーンのタイトルは日米における高齢化社会と
貧困に関する比較研究です。

概要

- 研究の重要性
- 研究質問
- 研究背景
- 研究方法
- 研究結果
- 結論
- 参考文献
- 謝辞

これは概要です。

研究の重要性

- 高齢化社会の問題は私達中年世代にとって懸念されてる事からで、問題の深刻性を調査するためにこの話題を選んだ。
- 日米両国がどのように問題を扱っているのか、そして今後どうするのかを知りたい。
- この問題が日米両国で深刻になっているのを人々がどれほど認識しているのか、についても調査してみたい。
- 特に大学生は、この問題について認識がないのではないか、またこれからの人生において準備ができているのかどうかを知りたい。

私たちがこの研究課題にした理由は私達中年世代にとって大事な問題で、日本とアメリカの大学生はこの問題をどのように認識しているのか、またどのように対処していこうと思っているのかを調べたかったからです。

研究質問

1. 高齢化社会の貧困について日米の大学生はどのような意見を持っているのか。
2. 高齢化社会の長期的な医療について日米の大学生はどのように認識しているのか。

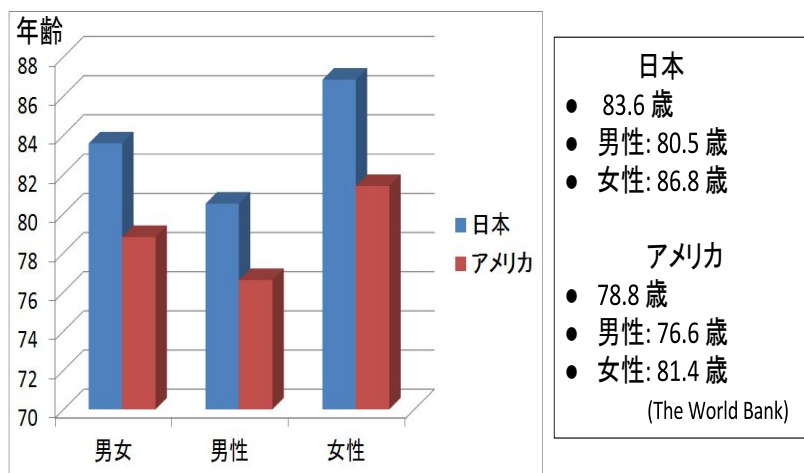
これが私達の研究質問です。1、高齢化社会の貧困について日米の大学生はどのような意見を持っているのか、2、高齢化社会の長期的な医療について日米の大学生はどのように認識しているか、の以上です。

研究背景

- 国家平均寿命
- 国家平均的出生
- 高齢化社会
- 貧困率と割合
- 年金と貯金
- 長期的医療の種類
- 長期的医療の価格
- 長期的医療問題
- 高齢化社会への対策

これが研究背景の概要です。

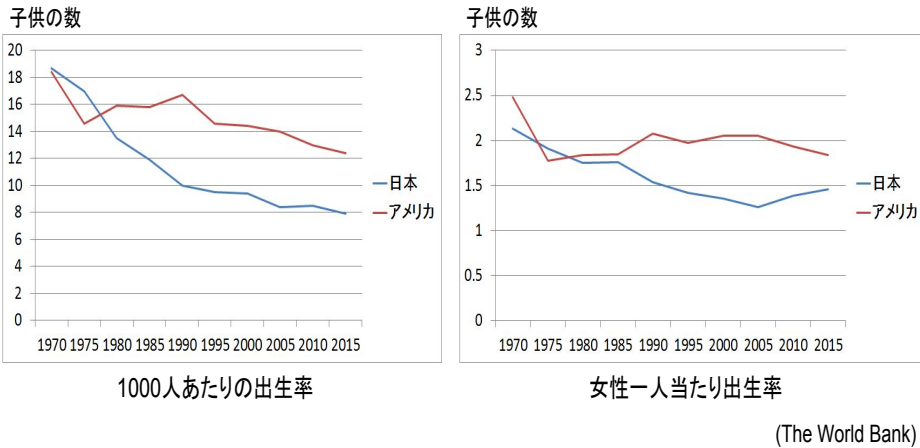
国家平均寿命(2014年)



- 両国の平均寿命の上昇は、高齢化社会を引き起こしている

では、まず、日本とアメリカの国家平均寿命について話します。このグラフからもわかるように両国の平均寿命の上昇は、高齢化社会を引き起こしています。日本の方が平均寿命がアメリカより高いことがわかります。この高齢化社会の理由は

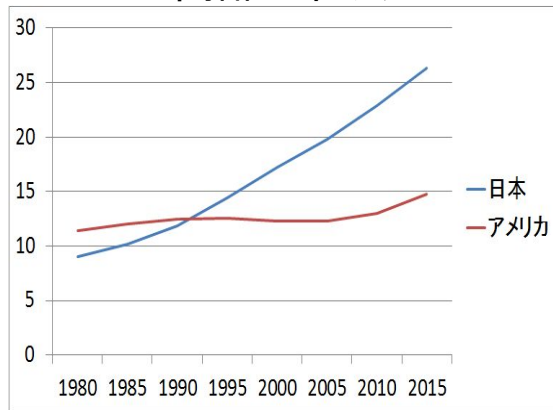
国家平均的出生率(2014)



- 平均余命の上昇と出生率の低下を組み合わせることで、高齢化社会が進んでいる
- 高齢化社会の進展は、出生および不妊率と関連している

この日本とアメリカの平均出生率の図からもわかるように日本の出生率の著しい低下がわかります。前のスライドで示した平均寿命の上昇とあわせると日本での高齢化社会が進んでいることがわかります。

高齢化社会



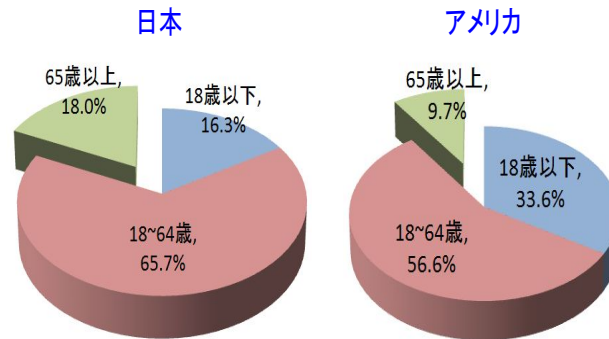
65歳以上の人口の割合 (2015年)

(The World Bank)

- 高齢者を支える若い人たちが減少している
- 社会健康保険、ケアプログラム、年金や公的支援が影響を受けている

この図で65才以上の人口の割合が日本では著しく増えていることがわかります。増え続ける高齢者を支える若い人たちの人数が少なくなるため、社会健康保険、ケアプログラム、年金や公的支援が影響を受けています。

貧困率と割合



	日本	アメリカ
貧困率:	16.1% (2012)	13.5% (2015)
貧困線年間:	¥1,220,000 (厚生労働省 2014, 2015)	¥1,360,000 (U.S. Census Bureau, 2015)

ではここで貧困について触れたいと思います。この図を見ると、18才から64才までの人たちの貧困が両国とも一番多いですが、65才以上の人たちの貧困はアメリカの9.7%にくらべて日本はその二倍の18%の人が貧困であることがわかります。



年金と貯金



日本	アメリカ
<ul style="list-style-type: none">● 1年の国民年金は毎月に分ると¥65,000 (日本年金機構 2016)● 平均生活費は毎月、¥275,000● 一人当たり、平均的な貯蓄貯金の必要性は¥105,000,000 (大沼 2016)	<ul style="list-style-type: none">● 平均社会保障金額は、毎月¥154,000 (Campbell 2016)● 平均生活費は毎月、¥275,000 (U.S. Bureau of Labor Statistics)● 労働者が必要な貯蓄額は¥132,000,000 (O'Hara 2015)
<ul style="list-style-type: none">● 両国の年金・退職金は生活に必要な金額の半分に過ぎない。従って、貯蓄預金を持つことが重要である。	

では年金と貯金についてみてみましょう。この表からアメリカでも日本でも年金や退職金が生活に必要な金額の半分にも満たしていないことがわかります。従って、いかに貯蓄額を増やすかが大事になってきます。

長期的医療の種類



- 両国で提供される基本タイプ
 - デイケアサービス
 - 在宅介護
 - 援助生活
 - 介護施設
 - ホスピスケア

(CareConversations.org & セコム)

高齢化社会の増加により長期的な医療の種類も色々あります。日本とアメリカの長期医療の種類はとても似ています。例えばデイケアサービス、在宅介護、援助生活、介護施設、ホスピスケア等があります。

長期的な医療経費



	日本	アメリカ
自宅ケア:	月: ¥50,000~¥250,000	月: ¥430,000
介護施設:	月: ¥120,000~¥400,000 (みんなの介護)	月: ¥165,000~¥860,000 (Bergal, 2016)

- 公的/私的保険,個人年金と貯蓄の組み合わせによる支払い
- 日本: 国の看護保険プログラム
- アメリカ: メディケア/メディケイドと個人介護保険

長期的な医療の経費は日本の方がアメリカより格段と安いことがわかります。

長期的な医療に関する問題



日本	アメリカ
<ul style="list-style-type: none">● 介護士の不足● 移民は必要だが、選択肢としてはない● 施設が空いていない場合、家族が介護しなければならない● 介護の責任は、若者が結婚する時期を遅らせる <p>(Oi, 2016)</p>	<ul style="list-style-type: none">● メディケア/メディケイドは、長期ケア費用のわずか52%のみを負担する● 65歳以上の人の16%のみが個人長期介護保険を持っている (Bergal, 2016)● 手頃な価格の長期的なケアの不足はアメリカの家族にとって大きな課題である <p>(O'Donnell, 2016)</p>

長期的な医療に関する問題はそれぞれの国によって異なります。日本では、介護士や施設の不足等のため、家族が介護しなければならない状況が多く、介護のため婚期を逃す人もたくさんいます。アメリカでは、メディケア/メディケイドは長期介護の費用の52%のみが負担されます。また、65歳以上の人の16%の人たちが個人の長期介護保険を持っているなど、長期的医療にはあまり対処されていないことがわかります。そのため家族の大きな負担となります。

高齢化社会の対策	
日本	アメリカ
<ul style="list-style-type: none"> ● 推奨すること <ul style="list-style-type: none"> ○ 退職後のための貯蓄 (大沼 恵美子, 2016) ○ 自立した生活と予防ケア (Muramatsu, 2016) ○ 医療現場の労働力に移民を受け入れる (Oi, 2016) ○ 年金の支払いの参加 ○ 退職後のパートタイム労働の推進 ● 高齢者をケアするためのロボット開発の紹介 (Marlow, 2016) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 推奨すること <ul style="list-style-type: none"> ○ 退職後のための財政計画と貯金 (O'Hara, 2015) ○ コストの削減介護施設ではなくホームケア (Belli, 2013 & Bergal, 2016) ○ 退職後のパートタイム労働の推進 (Nicoloya, 2016) ● 州または国の介護保険制度の開発 (Bergal, 2016)

日本でもアメリカでも高齢化社会への様々な対策が考えられています。両国とも退職後のための貯蓄や、退職後も働ける環境作り等です。日本では高齢者の介助のためのロボット開発等が行われています。

研究方法

- 調査の対象
 - 大学生59名
 - 日本人の大学生30名
 - 女性25名、男性5名
 - アメリカ人の大学生29名
 - 女性16名、男性12名、その他1名
- 調査方法
 - オンラインでのアンケート調査(Googleフォーム)
 - [英語でのアンケート](#)
 - [日本語でのアンケート](#)

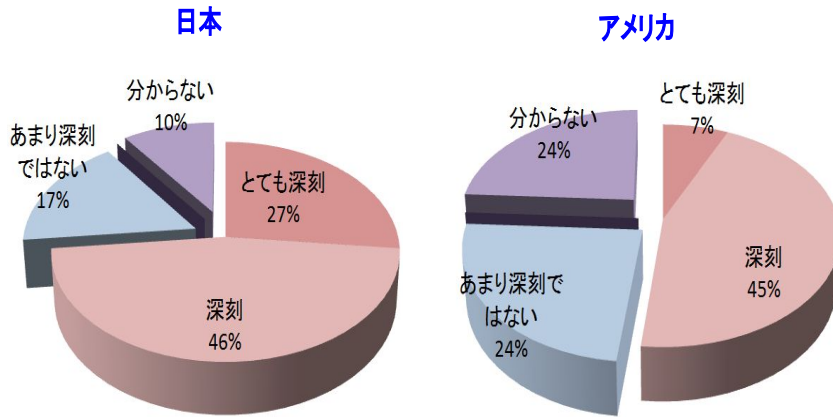
それではここで私達がおこなったアンケート調査の結果についてお話しします。アンケートに参加した学生は日本人 30名、アメリカ人29名、合計59名です。オンラインでアンケート調査を行いました。

研究結果1

質問：
高齢化社会の貧困について日米の大学生はどのような意見を持っているのか。

まず研究質問 1「高齢化社会の貧困について日米の大学生はどのような意見を持っているのか。」に関する結果について発表します。

「あなたは高齢者の貧困問題がどの程度深刻だと思いますか。」

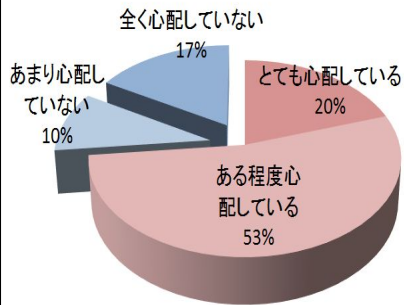


日本の大学生の大多数と過半数のアメリカ人は、高齢者の貧困問題が深刻だと考えている

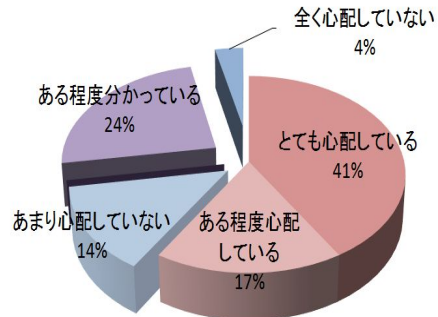
あなたは高齢者の貧困問題がどの程度深刻だと思いますかという質問に対して、日本の学生の大多数とアメリカの学生の過半数は深刻な問題だと考えています。

「退職した後、余裕のある生活をする為にいくら貯金すれば良いか心配していますか。」

日本



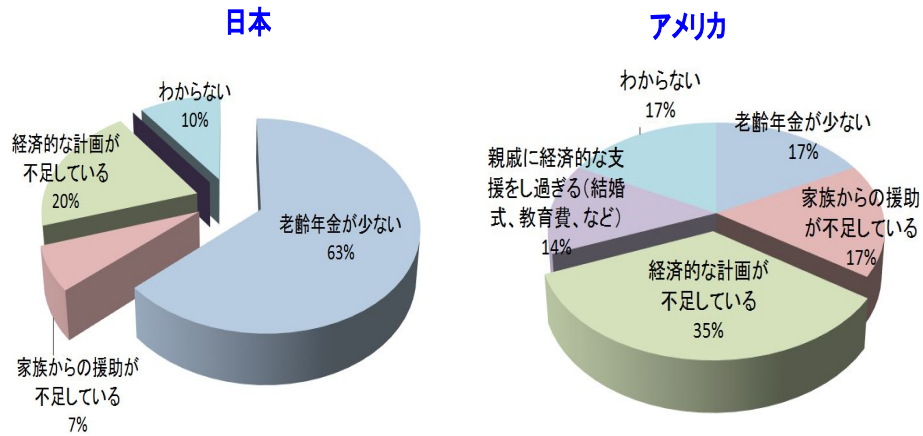
アメリカ



日本の学生の73%が「とても心配している」「ある程度心配している」と答えている一方、アメリカの学生の58%で、日本の学生の方が心配している。

退職した後、余裕のある生活をする為にいくら貯金すれば良いか心配していますかという質問に対して、70%以上の日本の学生が心配していると答えましたがアメリカでは58%にとどまっています。

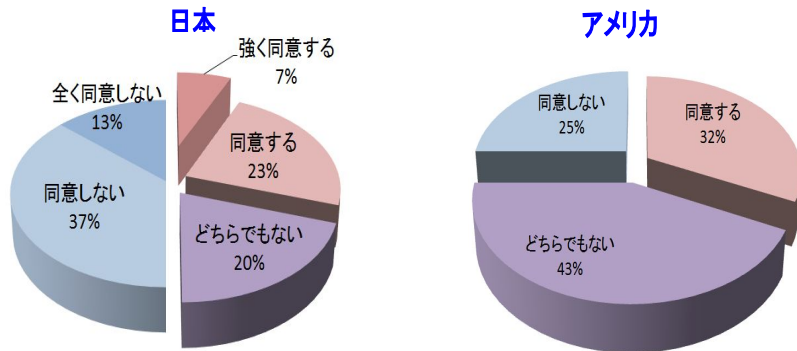
「多くのお年寄りが貧困に苦しむ最も大きな理由は何だと思いますか。」



日本の学生の約60%が低年金が貧困の原因であると考えているが、アメリカの学生の35%は財政計画の欠如だと考えている。

多くのお年寄りが貧困に苦しむ最も大きな理由に関しては、日本の学生の約60%が低年金が貧困の原因であると考えています。アメリカの学生の場合はもっと様々な理由にわかれています。一番多い答えは35%の「経済的計画が足りない」でした。

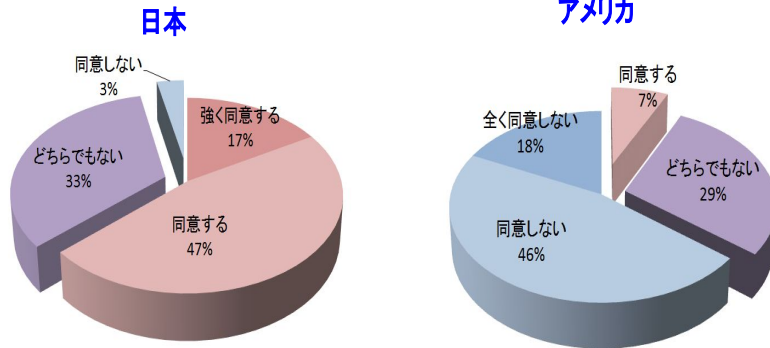
「高齢化社会における貧困の影響を解決するためには労働力のための外国移民を増加させる」



日本の学生の50%は解決策として移民の増加に同意しない一方、アメリカの学生の43%が「どちらともいえない」と答えた。

高齢化社会における貧困の影響を解決するためには労働力となる外国移民を増やしてはどうかという点に関しては日本の学生の50%が同意していません。アメリカの学生の25%が同意しませんが、43%の学生は「どちらともいえない」と選びました。

「高齢化社会における貧困の影響を解決するためには家族一人あたりの子どもの数をふやす」

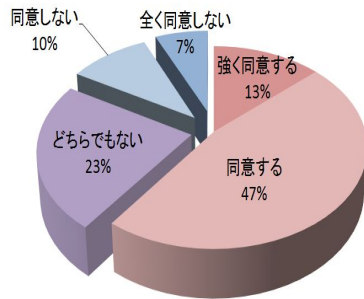


日本の学生の約64%はこの意見に同意し、同じ割合のアメリカの学生は逆に同意しなかった。

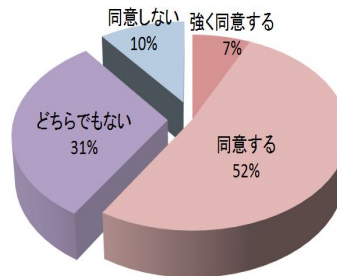
高齢化社会における貧困の影響を解決するためには家族一人あたりの子どもの数をふやしてはどうかという案には、64%の日本人の学生は同意していますがアメリカの学生の64%は同意していません。

「高齢化社会における貧困の影響を解決するためには高齢者向けのアルバイトを促進する」

日本



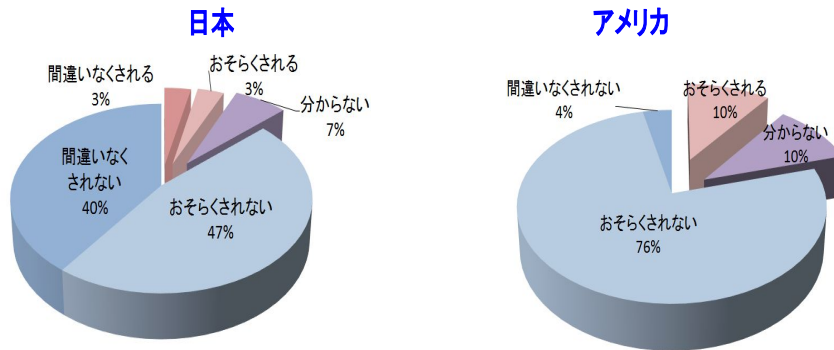
アメリカ



日本人とアメリカ人の学生のほぼ60%が高齢者のアルバイトを増やす事に同意した。

高齢化社会における貧困の影響を解決するためには高齢者のためのアルバイトを促進してはどうかという案には、日米の学生の過半数以上がいい考えだとしています。

「高齢化社会に対する貧困の問題は、私が65歳になる前に解決される。」



日本人とアメリカ人の学生の8割以上が高齢者の貧困の問題はおそらく解決されないと答えた。

高齢化社会に対する貧困の問題は、私が 65歳になる前に解決されかどうかに関しては、日米の学生の 8割以上が解決されないと答えました。

研究質問1の結果のまとめ

- 日米の学生共に高齢者の貧困が深刻な問題になっている事に同意している。
- 高齢者の貧困問題に関しては、日本人の学生は老齢年金が少ないことが原因だと答えたが、アメリカ人の学生は老後に備えての経済的な計画が十分ではないことが原因だと答えた。
- 日米の学生共に、ある程度、退職後のための貯金に対して不安を感じていることがわかった。
- 日本人とアメリカ人の学生の約8割が、自分達が65歳になった時に高齢者の貧困は解決されていないだろうと否定的に考えている。

それでは、ここで研究質問1の結果のまとめをします。

日本の学生もアメリカの学生も高齢者の貧困が深刻な問題だという認識を持っていることがわかりました。長期介護には多くの経費がかかりますが増え続ける高齢者の貧困の問題とも重なり、日本の学生は年金が少ないことが大きな原因だと考えています。一方アメリカの学生は老後に備えての経済的計画が十分ではないことをあげました。両国の学生は自分達が65歳以上になってもこの高齢者の貧困問題は解決されないと思っています。

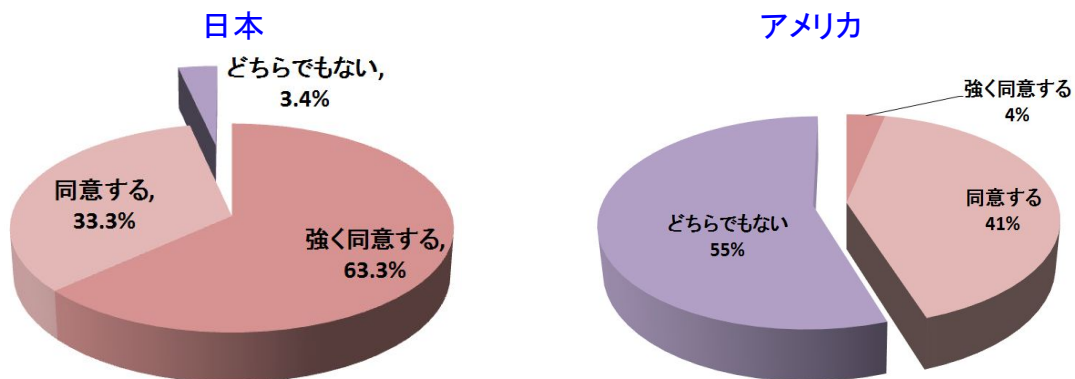
研究結果2

質問:

高齢化社会の長期的な医療についての日米の大学生の見解はなにか。

それでは、次に研究質問2、高齢化社会の長期的な医療についての日米の大学生の見解はなにかに関する結果を発表します。

「高齢人口の増加は、私が将来受けることができる政府年金の額に影響を及ぼす。」

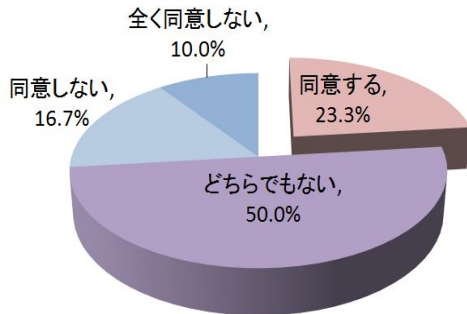


日本の学生の約97%は、高齢化が年金に影響を与えたと考え、アメリカの学生の半数以上は何の意見も持っていない。

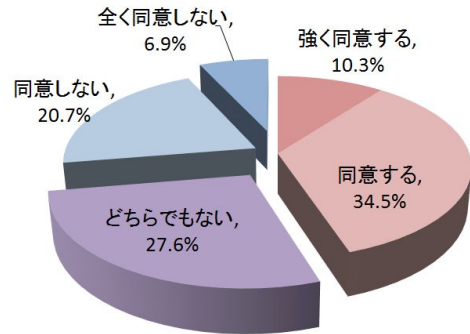
高齢人口の増加は、私が将来受けることができる政府年金の額に影響を及ぼすという考えに対しては、日本の学生のほとんどが影響があると答えた一方、アメリカの学生は日本の学生の半数だけにとどまっています。

「老後は、私の子供や家族が私の世話をすべきだと思う。」

日本



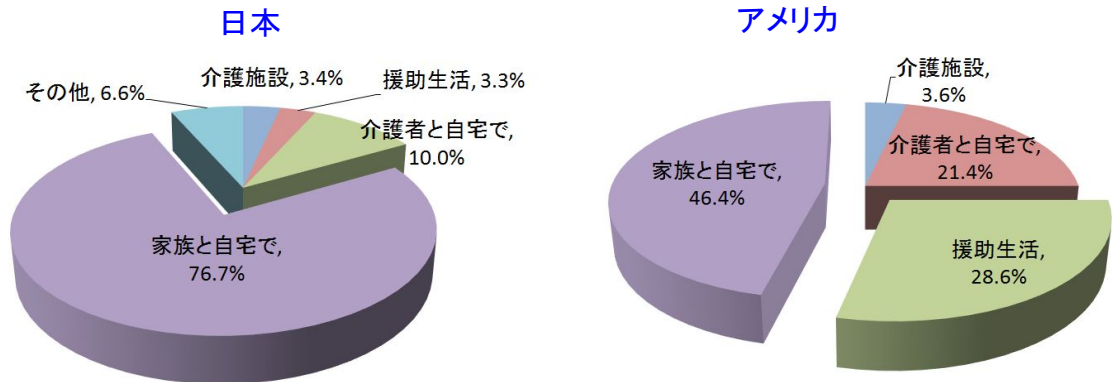
アメリカ



アメリカの約45%の学生は、老後は家族に世話をしてもらえると考えており、日本人の約二倍である。

老後は、私の子供や家族が私の世話をすべきだと思うという事に関しては、アメリカの約45%の学生は、老後は家族に世話をしてもらえると考えており、それは驚くことに、日本人の約二倍という結果がでました。

「高齢になった私の両親が生活する最良の場所は_____。」

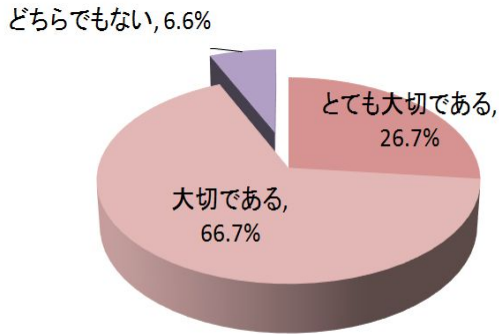


日本の学生の約77%は、高齢の両親が家族と一緒に暮らすべきだと考えている。アメリカの学生の約半数も同じ意見だが、約30%が援助生活が良い選択だと思っている。

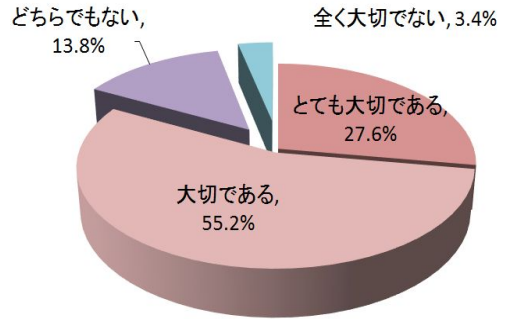
高齢になった私の両親が生活する最良の場所に関して、日本の学生の約8割は、家族と一緒に暮らしたほうが良いと考えているのに対し、アメリカの場合は5割弱にとどまっています。

「高齢者の家族の世話をすることは_____。」

日本



アメリカ

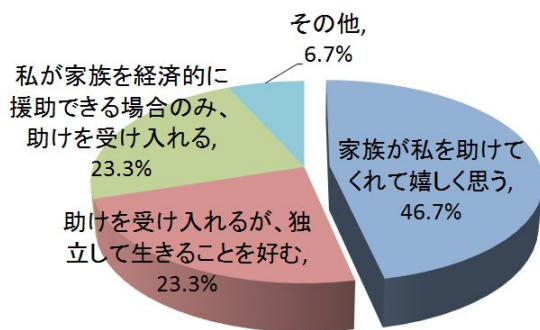


9割の日本人の学生と8割のアメリカの学生が大切だと思っている。

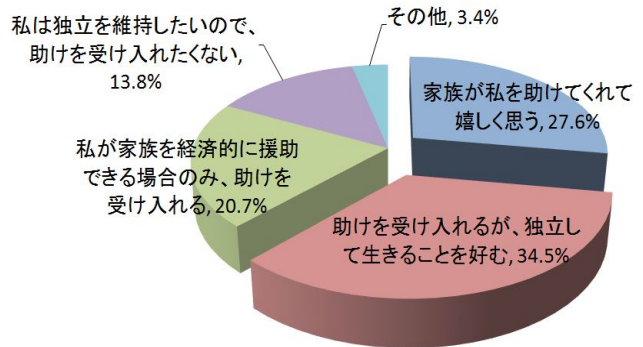
高齢者の家族の世話をすることに関しては、どちらの学生も大切だと考えています。

「私の老後に、家族が私の世話をしなければならない状況になったら、私は...」

日本



アメリカ



日本の学生の5割が家族が自分の世話をしてくれれば嬉しく思っている。アメリカの学生3割が家族からの世話を希望しているが3割以上の学生ができるだけ独立して生きていきたいと考えている。

私の老後に、家族が私の世話をしなければならない状況になったら、私はどうするかという質問に対しては、日本の学生の約半数が家族が世話をしてくれれば嬉しく思うと考えている一方、アメリカの学生は家族の助けに関しては28%にとどまり35%の学生が助けは受け入れたいが独立して生きていきたいという考えを持っていることが分かりました。

研究質問2の結果のまとめ

- 日本の学生はアメリカの学生より、将来年金だけでは老後の生活、特に長期介護には不十分であると思っている。
- どちらの国の学生も、高齢になった家族の世話をすることは大切だと感じている。
- 日本人の学生は、老後に世話をしてもらうことは期待していないが、老後を過ごす最良の場所は家族と過ごすことだ考えている。
- 日本の学生の方がアメリカの学生より多少自分の老後の介護を家族にしてもらいたいと思っているが、アメリカの学生は家族の世話になることよりできるだけ独立して生きていきたいと考えている。

それでは、ここで研究質問2の調査結果をまとめます。日本の学生はアメリカの学生より、将来年金だけでは老後の生活、特に長期介護には不十分だと思っています。またどちらの国の学生も、高齢になった家族の世話をすることは大切だと感じていることがわかりました。

日本人の学生は、老後に世話をしてもらうことは期待してはいませんが、老後を過ごす最良の場所は家族と過ごすことだと考えています。また日本の学生の方がアメリカの学生より多少自分の老後の介護を家族にしてもらいたいと思っていますが、アメリカの学生は家族の世話になることよりできるだけ独立して生きていきたいと考えていることがわかりました。

結論

- **日本とアメリカの大学生の同意点**

- 高齢者の貧困問題は深刻である。
- 自分達が65歳になるまでに、高齢者の貧困の問題はおそらく解決されない。
- 高齢者の世話をすることは大切である。
- 6割が高齢者が働ける環境を作る
- 両国の学生は定年後はできるだけ家族に頼らず自立した生活をしたいと望んでいるが、それができなくなった際は家族の世話になりたい

- **日本人とアメリカ人の大学生の意見がの相違点**

- 高齢者の貧困の原因は日本人の大学生は年金額の低さだと思っているが、アメリカ人は財政計画の欠如と考えている。
- 高齢化社会の問題への対策に対して、日本人の大学生は家族一人あたりの子どもの数を増やすこと

この研究から次のことがわかりました。

まず日本とアメリカの学生の同意している事項は、高齢者の貧困問題は深刻であること、自分達が65歳になるまでに、高齢者の貧困の問題はおそらく解決されないこと、そして高齢者の世話をすることは大切であるという点です。その対策として高齢者も働ける環境をつくるのが大事だとしているところ、そして、両国の学生は定年後はできるだけ家族に頼らず自立した生活をしたいと望んでいるが、それができなくなった際は家族の世話になりたいと思っていることです。

異なっている事項に関しては高齢者の貧困の原因は日本の大学生は年金の額の低さだとしていますが、アメリカの学生は老後に備えての財政計画の欠如と考えていること、高齢化社会の問題への対策として、日本の大学生は家族一人あたりの子どもの数を増やすことをあげていることです。

さらに、日本の学生は、定年後に家族に世話をしてもらえとは期待していないが、自分の高齢の両親が家族と一緒に暮らすべきだと考えています。一方、アメリカ人は家族に世話をしてもらえんと思っているが、なるべく独立した生活をしたいことが分かりま

した。

その結果によると、日本とアメリカの文化と社会が違うことが分かりました。つまり、日本のグループ社会とアメリカの個人主義の社会の違いは、日本人とアメリカ人の大学生の答えに影響していると言えるかもしれません。

最後に、私達が最初に述べた仮説は、高齢化社会の問題について日米の大学生は全く考えていないと思っていたが、調査結果によると、この問題に対して深く考えていることが分かりました。

結論（続き）

- 高齢化社会への見解はそれぞれの国の文化、価値観を反映している。日本はグループ社会で社会としての責任があるという見方である一方アメリカは個人主義を重視しているため老後の対策は個人の責任として計画しなければならないとの認識がある。
- この研究を始める前に私達は両国の学生は高齢化社会の問題についてはあまり考えていないと推測していたが、この研究結果は学生は高齢化社会に向けて深刻に考えていることがわかった。対策は国により異なるが如何に個人が将来に向けて計画をしなければいけないことが重要かがわかった。

この研究を通して私達が学んだことは高齢化社会への見解はそれぞれの国の文化、価値観を反映しているということでs。日本はグループ社会で社会としての責任があるという見方である一方アメリカは個人主義を重視しているため老後の対策は個人の責任として計画しなければならないとの認識があります。この研究を始める前に私達は両国の学生は高齢化社会の問題についてはあまり考えていないと推測していましたが、この研究結果は両国の学生とも高齢化社会に向けて深刻に考えていることがわかりました。対策は国により異なりますが如何に個人が将来に向けて計画をしなければいけないことが重要かがわかりました。

研究の限界点と将来の研究課題

- 研究の限界点
 - このサーベイに参加した学生数は少なかったためこの結果は一般化することはできない。
 - アメリカでの調査は、カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校の学生に限られており、他の大学の学生の意見を反映していない。
- 将来の研究課題
 - 今後の調査では両国の学生が卒業後、アンケート調査を行い、彼らの意見がどのように変化するかを調べたい。
 - 現在の日本人とアメリカ人はどのくらい貯金を溜めているか、又貯金したいと考えているかも調査したい。

この研究における限界点はこの研究に参加した学生数が少なかったため、この結果は一般化することはできません。またこの研究に参加したアメリカの学生はカリフォルニア州立大学モンテレーベイ校の学生だけなので、他の大学の学生の意見は反映していません。

将来の研究課題については、大学生が卒業した後アンケート調査を行って、どのように意見が変わるのかを知りたいです。また、今日本人とアメリカ人はどのくらい貯金を溜めているか、又貯金したいと考えているかも調べたいです。

参考文献

- Anderson, L. A., PhD., Goodman, R. A., M.D., M.P.H., Holtzman, D., PhD., Posner, S. F., PhD., & Northridge, M. E., PhD., M.P.H. (2012). Aging in the united states: Opportunities and challenges for public health. *American Journal of Public Health*, 102(3), 393-395. Retrieved from <https://search.proquest.com/docview/1001239999?accountid=10355>
- Belli, D. K. (2013). Can Japan serve model U.S. health and long-term care systems? *American Society on Aging*.
- Bergal, J. (7/18/2016). "Money, Personal Preferences Push States on Long-Term Care". The Pew Charitable Trusts. Retrieved from: <http://www.pewtrusts.org/en/research-and-analysis/blogs/stateline/2016/07/18/money-personal-preferences-push-states-on-long-term-care>
- Campbell, T. (1/31/2016) "How Big Is the Average Social Security Check?" The Motley Fool. Retrieved from: <http://www.fool.com/investing/general/2016/01/31/how-big-is-the-average-social-security-check.aspx>

これは私たちが使用した参考文献です。

参考文献

- Cubanski, J., Casillas, G & Damico, A. (2015). Poverty Among Seniors: An Updated Analysis of National and State Level Poverty Rates Under the Official and Supplemental Poverty Measures. Kaiser Family Foundation. Retrieved from <http://kff.org/medicare/issue-brief/poverty-among-seniors-an-updated-analysis-of-national-and-state-level-poverty-rates-under-the-official-and-supplemental-poverty-measures/>
- Gardova, O. (2016). Japan and its birth rate: the beginning of the end or just a new beginning?. The Japan Times.
- Kliff, S. (2013). The US ranks 26th for life expectancy, right behind Slovenia. Washington Post. Retrieved from: http://go.galegroup.com.library2.csumb.edu:2048/ps/i.do?p=AONE&sw=w&u=csumb_main&v=2.1&it=r&id=GALE%7CA349960457&asid=c44a1e1febf6bd24a569936f173ec23a
- Kumagai, F. (2010). Forty years of family change in Japan: A society experiencing population aging and declining fertility. *Journal of Comparative Family Studies*, 41(4), 581-610.
- Leonard, A. (2016). Could japan's shrinking population lead to shrinking rights for women? the low birthrate and aging population are driving pressure to restrict abortion in japan. *Newsweek*, 166(11).

参考文献

- Lewis, L. (2016). Japan's elderly turn to life of crime to ease cost of living. FT.Com, Retrieved from <https://search.proquest.com/docview/1784329050?accountid=10355>
- Marlow, I. (2016). Japan's Bold Steps. The Globe And Mail.
- Martin, A. (2016). Japan's Elderly Face Growing Risk of Poverty; Declining wages and higher social welfare payments for an aging population are sapping funds available for retirees. Wall Street Journal, A.12.
- Murai, S. (2016). Government weighs immigration to maintain population, boost workforce. The Japan Times.
- Muramatsu, N., Akiyama, H. (2016). Japan: Super-Aging Society Preparing for the Future. The Gerontologist (2011) 51 (4): 425-432.
- Murray, C. (2011). Why is japanese life expectancy so high?. The Lancet, 378(9797), 1124-1125.
- National Pension System. 日本年金機構. Retrieved from: <http://www.nenkin.go.jp/international/english/nationalpension/nationalpension.html>
- Nicoloya, M. (2016). Two solutions to the challenge of population aging. Retrieved from <https://www.brookings.edu/blog/up-front/2016/05/02/two-solutions-to-the-challenges-of-population-aging/>

参考文献

- O'Donnell, J. (2016, Feb 23). Another push for universal long-term care. USA Today. Retrieved from <https://search.proquest.com/docview/1767770162?accountid=10355>
- O'Hara, C. (2015, Feb/March). How Much Money Do I Need to Retire? AARP The Magazine.
- Oki, E., & Matsushige, H. (2011). Japan's aging population and its silver care industry. SERI Quarterly, 4(4), 35-45,8. Retrieved from <http://search.proquest.com/docview/898962343?accountid=10355>
- Oi, M. (3/16/2015). Who will look after Japan's elderly?. BBC News, Japan. Retrieved from: <http://www.bbc.com/news/world-asia-31901943>
- Porter, E. (2015, December 23). Aging Society Changes Story on Poverty in Old Age. New York Times, p. B1(L). Retrieved from http://go.galegroup.com.library2.csumb.edu:2048/ps/i.do?p=AONE&sw=w&u=csumb_main&v=2.1&it=r&id=GALE%7CA438270985&asid=1e8c12d7dde47d9a4b6b11f61119bb7c
- Poverty. United States Census Bureau. Retrieved From: <https://www.census.gov/topics/income-poverty/poverty.html>
- Struggling; Japan's working poor. (2015, April 4). The Economist, 415(8932), 38(US). Retrieved from http://go.galegroup.com.library2.csumb.edu:2048/ps/i.do?p=AONE&sw=w&u=csumb_main&v=2.1&it=r&id=GALE%7CA407953687&asid=828d3f522a4b75ab49d3b53e1bf44317

参考文献

The World Bank. Retrieved From: <http://data.worldbank.org/>

Types of Care. (2017). American Health Care Association/National Center for Assisted Living.

Retrieved From: <https://careconversations.org/types-care>

What's the difference between a 401(k) and a pension plan? (2014, Oct 3). Investopedia.com.

Retrieved From:

<http://www.investopedia.com/ask/answers/100314/whats-difference-between-401k-and-pension-plan.asp>

What is the Social Security Retirement Age?. National Academy of Social Insurance. Retrieved from:

<https://www.nasi.org/learn/socialsecurity/retirement-age>

U.S. Birth Rates and Population Growth. SUSPS. Retrieved from:

<http://www.susps.org/overview/birthrates.html>

福一 由紀.(2015年). 年金受給額、平均でいくら? 平成25年度. All About.

高齢者の25%が貧困状態 年収160万円以下、5年で160万人増.(2016年).東京新聞 (TokyoWeb).

武石 嘉子.(2017年). 介護保険で利用できる介護サービスの種類.セコム.

老後のお金・年金.(2017年).みんなの介護.

大沼 恵美子.(2016年).老後のための貯蓄額、いくら必要?. All About.

参考文献

- U.S. Census Bureau. Income and Poverty in the United States: 2015.
<https://www.census.gov/library/publications/2016/demo/p60-256.html>
- U.S. Census Bureau. Historical Poverty Tables: People and Families - 1959 to 2015. Table 1.
Weighted Average Poverty Thresholds for Families of Specified Size.
<https://www2.census.gov/programs-surveys/cps/tables/time-series/historical-poverty-people/hstpov1.xls>
- U.S. Census Bureau. Historical Poverty Tables: People and Families - 1959 to 2015. Table 15. Age
Distribution of the Poor.
<https://www2.census.gov/programs-surveys/cps/tables/time-series/historical-poverty-people/hstpov15.xls>
- 厚生労働省.子どもの貧困対策の推進に関する法律(平成26年1月17日施行)
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000083805.pdf>
- 厚生労働省.全国消費実態調査と国民生活基礎調査の概要(平成27年12月18日)
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/soshiki/toukei/dl/tp151218-01_1.pdf
- セコム.介護保険で利用できる介護サービスの種類.安心介護のススメ.
<https://www.secom.co.jp/kaigo/basic/20161101.html>

参考文献

福一 由紀. (2016年01月17日) 気になる年金受給額。平均いくらもらえる？. All About.

<https://allabout.co.jp/gm/gc/461640/>

日本年金機構. (2016年4月1日) 年金の受給(老齢年金)

<http://www.nenkin.go.jp/service/jukyu/roureinenkin/jukyu-yoken/20150401-01.html>

老人ホーム・介護施設の費用・料金. みんなの介護. <http://www.minnanokaigo.com/guide/cost/>

謝辞

- 齋藤-アボット佳子教授
- 関根繁子教授
- 高橋周臣教授
- 私たちのキャップストーンに協力してくださった皆さん。

心から感謝しています。

